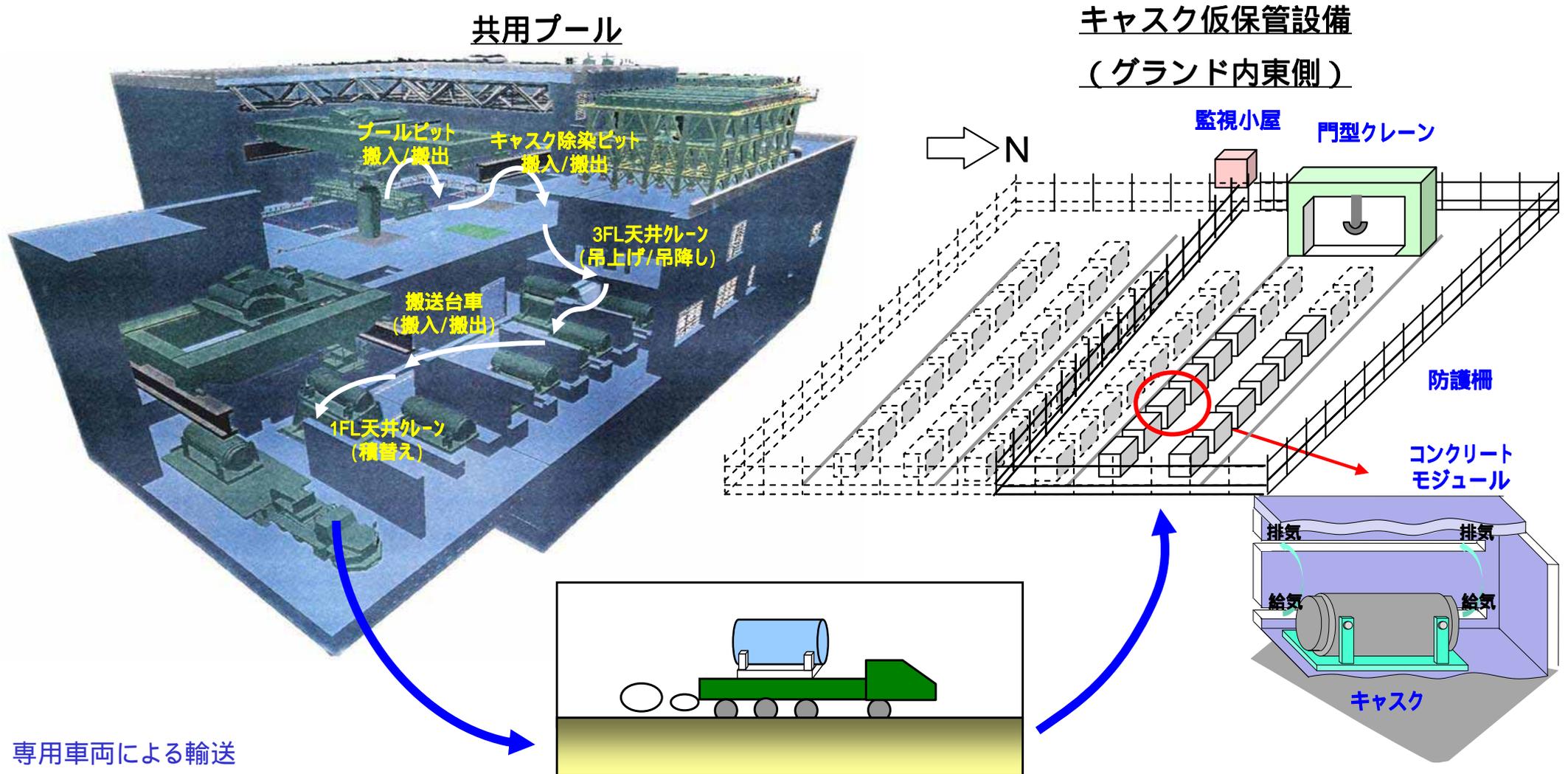


福島第一原子力発電所共用プール建屋から
乾式キャスク仮保管設備への既設の乾式貯蔵キャスク
1 基の構内輸送について

平成25年4月4日
東京電力株式会社

乾式貯蔵キャスク 1 基の乾式キャスク仮保管設備への移動について

本日（4月4日）、福島第一原子力発電所の共用プール建屋にて点検を行っていた乾式貯蔵キャスク 1 基を共用プール建屋から搬出し、キャスク仮保管設備まで構内輸送を実施しました。



専用車両による輸送

トレーラによるカスクの輸送風景について

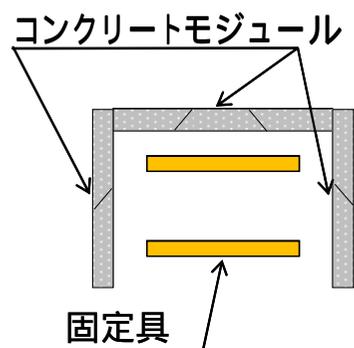


共用プール建屋からの搬出



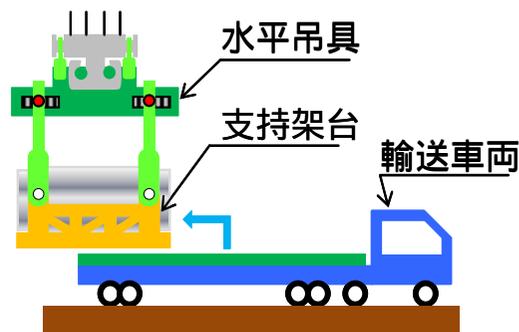
輸送風景

乾式貯蔵キャスクのコンクリートモジュールへの据付要領

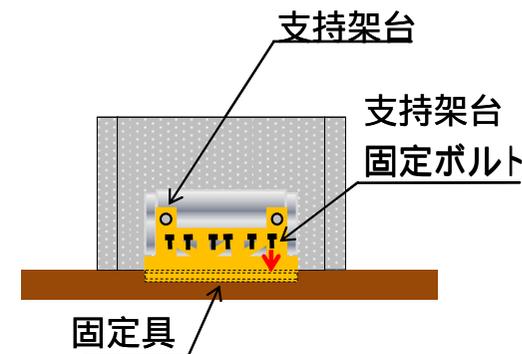


(図は平面図を示す)

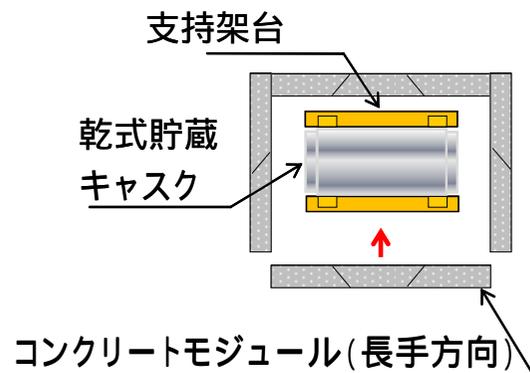
3方壁取付 (実施済み)



キャスク搬入 (本日実施)

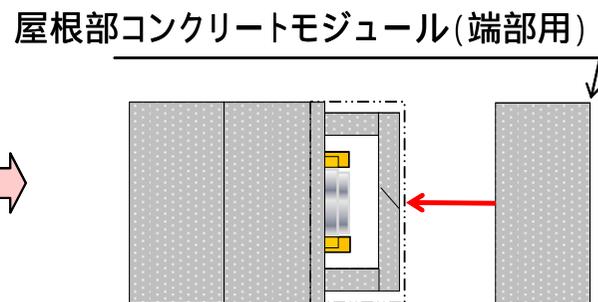


キャスク据付 (本日実施)



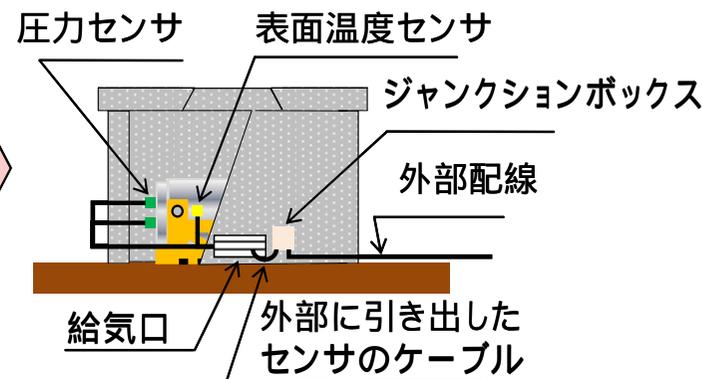
(図は平面図を示す)

壁取付 (本日実施)



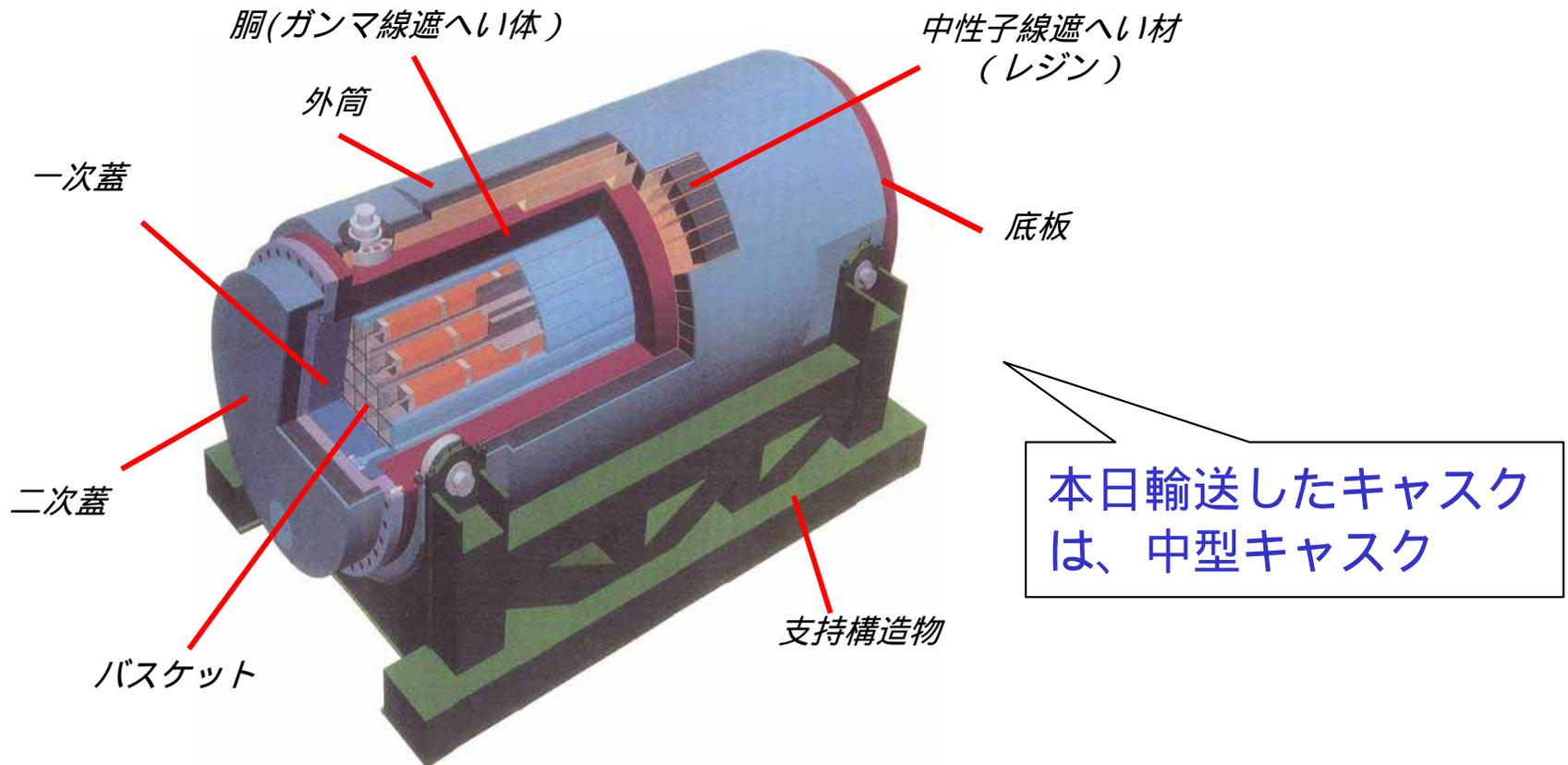
(図は平面図を示す)

屋根取付 (本日実施)

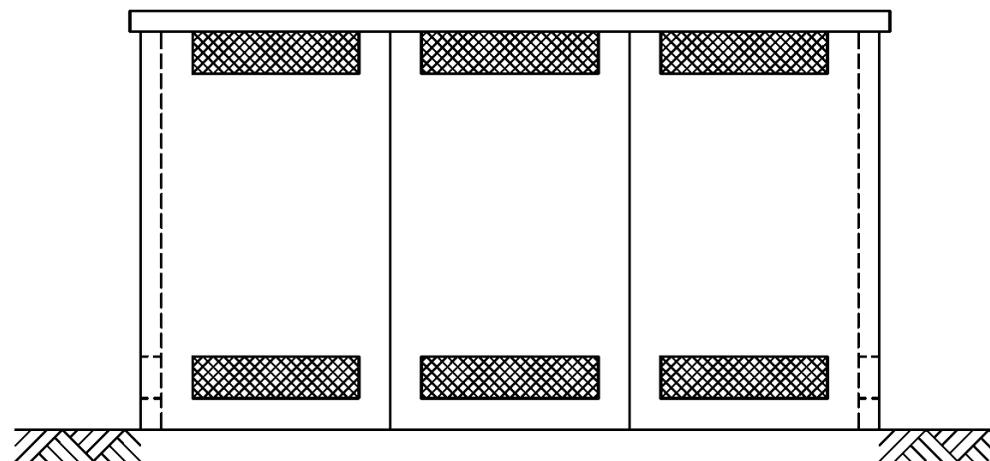


計器取付 (今後実施)

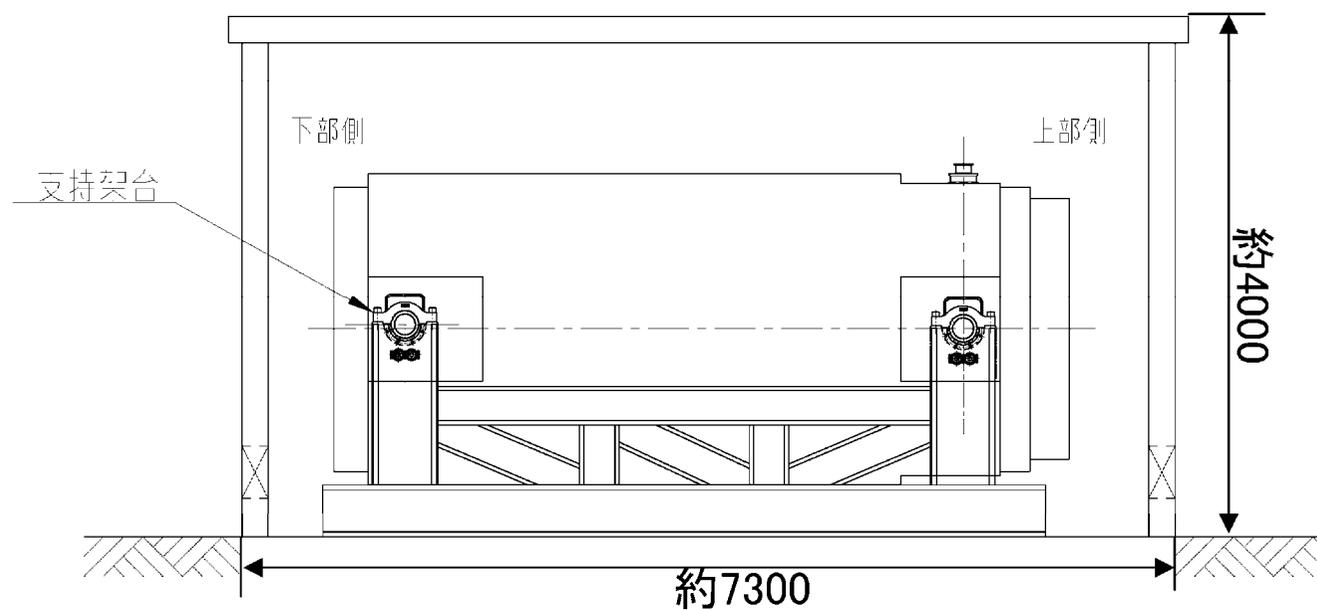
本日、乾式キャスク仮保管設備へ輸送を行った乾式貯蔵キャスク



	中型(4基)	大型(5基)
外 径	2.2m	2.4m
全 長	5.6m	5.6m
総重量 (燃料含む)	96トン	115トン
燃料収納体数	37体	52体



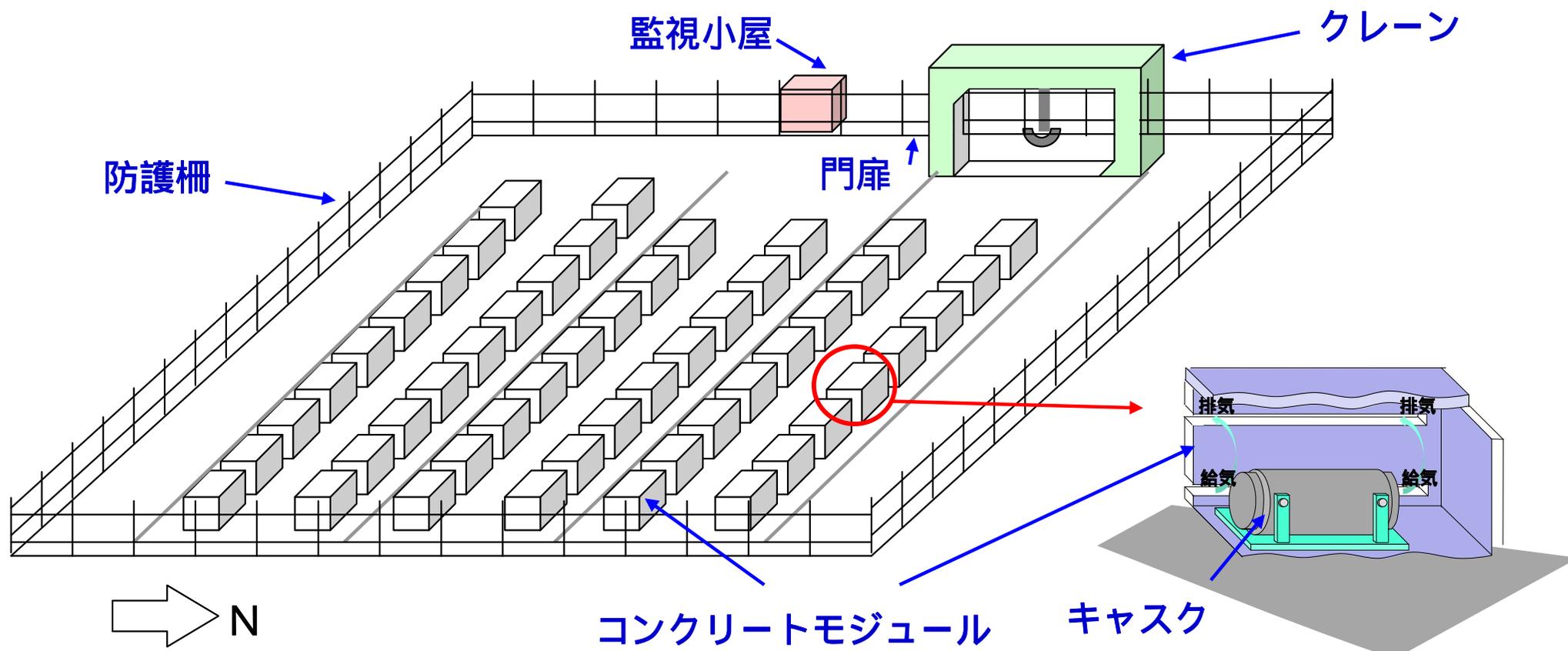
コンクリートモジュール外形



キャスク据付（乾式貯蔵キャスク）

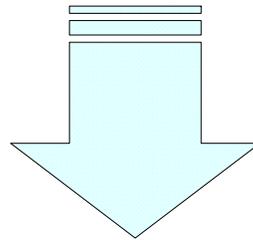
乾式キャスク仮保管設備の概要について

- 保管基数：50基（将来増設15基分のスペース確保）
- 保管カバーはキャスク1基毎をコンクリートモジュールで覆う方式
- 基礎構造：地盤改良を行いその上に基礎盤を敷設
- 既存キャスク保管庫と同様支持架台を設け，固定ボルトにより固定支持する
- キャスク等を取り扱える門型クレーンを設置



今後、キャスク自体に温度計（表面温度センサ）や圧力センサを設置し校正を実施する予定。

当該温度計や圧力センサにより、蓋間圧力および表面温度の監視を開始した上で、運用開始とさせていただきます。



運用開始後に、改めてお知らせさせていただきます。

以上